

**疲れやすく
運動したがない犬は
心臓病かもしれません。**



心臓病を調べるための検査をご紹介します。

犬の心臓バイオマーカー

NT-pro BNP 検査



どんな検査ですか？

血液中のNT-proBNP濃度を測定する検査です。

BNP(B型ナトリウム利尿ペプチド)は、心筋に負担がかかったときに放出されるホルモンで、心臓病が疑われる場合に、心臓バイオマーカーとして使用されます。

この検査は何に役立つの？

- 結果が数値でわかる Cardiopet® proBNP 検査 — 客観的な判断に役立ちます。
- 呼吸器疾患との鑑別 — 呼吸器症状の原因の鑑別に役立ちます。

検査は痛くないの？

NT-proBNP検査は、採血だけでできる検査です。少しの血液を採血するだけで動物の体にほとんど負担がかかりません。

暴れてX線検査や心エコー検査などをいやがる犬にも適しています。



心臓病は、NT-proBNP検査に加え、
以下の検査により総合的に診断を行います。

聴診：

心臓病では多くの場合、聴診器で「心雑音(しんざつおん)」が聴取されます。



X線、心エコー図、心電図等：

心臓の大きさや内部構造の異常の検出、
不整脈の診断などを行います。

特に心エコー検査では心臓の収縮力、
血液の流れや速度などもわかります。





どの犬種でも心臓病になる可能性はありますが、
以下のような種類でよく見られます。

- ダックスフンド
- プードル
- チワワ
- ビーグル
- キャバリア キング
チャールズ スパニエル
- シュナウザー
- ドーベルマン
- グレートデン
- ボクサー
- セントバーナード